

# 災害の怖さを今一度見つめよう!!

## ＝早めの防災措置を＝

六月は梅雨シーズン。とくに集中豪雨や長雨等で、地盤がゆるみ、がけ崩れや地すべりが発生しやすくなります。



昨年六月末から七月初めにかけた集中豪雨では連続降雨量は一、〇五〇・五ミリと記録的な大雨となり、家屋倒壊・地すべり、がけ崩れ等町内全域に発生した災害の被害件数は二百九十三件で総被害額は三億二千六百五十三万円余となりました。何ミリの雨が降ったら危険かどうか一概に言えませんが一時間に三十ミリでも川があふれたり、反対に三十ミリ以上降っても何ともない所もあります。予測の難しい集中豪雨から、わたしたちの身を守るため、今一度、近くに危険な所はないか

日ごろから調らべておく必要があります。

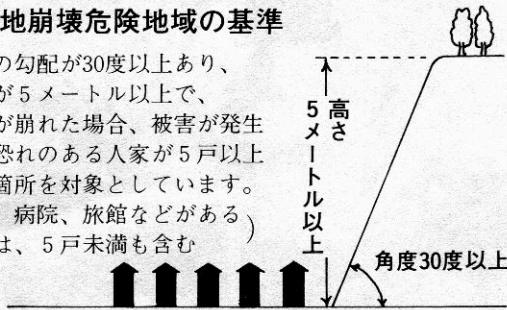
### こんながけは危険ですよ

がけ崩れの危険性の高いがけの多くは、傾斜が三十度を超えるがけです。このうち、高さが五メートル以上あるがけは、家の屋根よりも高いため、崩れたときは家を押しつぶすことになり非常に危険です。

その他、危険ながけの判断の目安としては、次のようなも

### 急傾斜地崩壊危険地域の基準

- ①がけの勾配が30度以上あり、
- ②高さが5メートル以上で、
- ③がけが崩れた場合、被害が発生する恐れのある人家が5戸以上ある箇所を対象としています。(学校、病院、旅館などがある場合は、5戸未満も含む)



のがあります。

- 斜面に凹凸が多い。
- 斜面の上部がはり出している。
- 湧水があつたり雨水が集まりやすい。
- 以前に近くでがけ崩れがあった。

○表土が厚いか、岩が土のよ

うにポロポロになつていたり、かたい岩でも割れ目が多い。

### 雨は、がけ崩れの

#### 注意信号ですよ

がけ崩れは、雨・風・地震等によって発生します。とくに雨は、たとえわずかな量でもがけ崩れ発生の引金になります。長い雨や強い雨の降るときは十分注意しましょう。

### 何よりも、まず

#### 避難が肝心ですよ

がけ崩れは、一瞬の間に家財や人命をうばう激しい破壊力を持っています。不断からいつでも避難できる用意と、がけに近い部屋には寝起きしない心がけが必要です。万一、がけ崩れが起りそうになったら、すぐに身ひとつで避難してください。

### ◎避難予定場所

施設名	収容可能人員	所在地
日置市立中学校	300	日置市古町
日置市立第一小学校	200	〃
日置市立第二小学校	100	〃
日置市立第三小学校	200	〃
日置市立第四小学校	100	〃
日置市立第五小学校	100	〃
日置市立第六小学校	50	〃
日置市立第七小学校	30	〃
日置市立第八小学校	50	〃
日置市立第九小学校	50	〃
日置市立第十小学校	100	〃
日置市立第十一小学校	300	〃

### あなたにもできる

#### 防災措置ですよ

- がけの周辺を見回り、次のようなことを早目に実施しましょう。
- 水路を掃除する。
- 雨水などが、がけに流れないように水路等を作る。
- 風で地盤をゆさぶる大木を切る。
- 不安定な土塊を切りとる。
- 木や板の柵や石積をする。